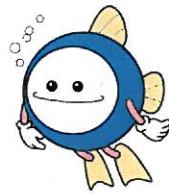


下水道新聞

Vol.1

下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」

菊川浄化センター 下水道課 TEL 35-0933

<http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/kurashi/jougesuldou/gesuldou/index.html>

『下水道室』から『下水道課』に変わりました

平成25年度より市の機構改革に伴い、『下水道室』から『下水道課』に名称が変更となりました。

業務内容に関しても、『公共下水道事業』に加え、今年度から『合併浄化槽設置費補助業務』が環境推進課から移管され下水道課が担当することになりました。

下水道課長から一言ご挨拶

『住み良さを実感できる街』と一言で申し上げましても、医療体制の充実、交通の利便性や社会保障の充実、あるいは、文化・スポーツの振興等々、市民の皆さまにも様々な価値観の違いがあると思います。

そのような中、私たち下水道課は、皆さまの生活環境の整備に携わらせていただいておりますが、下水道事業そのものが、行政主導で推進してきた事業であり、生活環境が大幅に改善されるとはいえ、『受益』と『負担』という点で、住民負担を強いる側面を持つものであります。従いまして下水道は、皆さまと行政が共に向き合う”まちづくり”そのものだと感じております。

昔のような川を蘇らせるためには、まだ、しばらくの年月がかかりますが、中心市街地の「五丁目樋管」の排水も、「菊川」の水質も徐々に綺麗になってきています。

環境づくりの『ものさし』は、住む人の気持ちです。今後とも皆さまのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

下水道課長

日吉町・柳・上本所・日之出町二丁目・潮海寺・小川端(各一部)が下水道を使用できる区域に加わりました!!

平成24年度に下水道工事を行った日吉町・柳・潮海寺・上本所・日之出町2・小川端の各一部が供用開始区域に加わり、菊川市で下水道を使用できる区域が7.8ha増の256.5ha、排水人口（下水道が使用できる人口）が10,245人となりました。

平成24年度末の水洗化人口（実際に下水道を使用している人口）は、前年度末から479人増の8,591人となり、水洗化率（下水道が使用できる人口のうち実際に使用している人口の割合＝水洗化人口÷排水人口）は、83.9%となりました。

接続率ベスト3自治会（平成25年3月31日現在）

1位:白岩段 92.6% 2位:長池 89.9% 3位:上本所 84.5%



住民の皆様には工事期間中、片側・全面通行止め等の交通規制により、大変ご迷惑をお掛けしました。ご協力ありがとうございました。

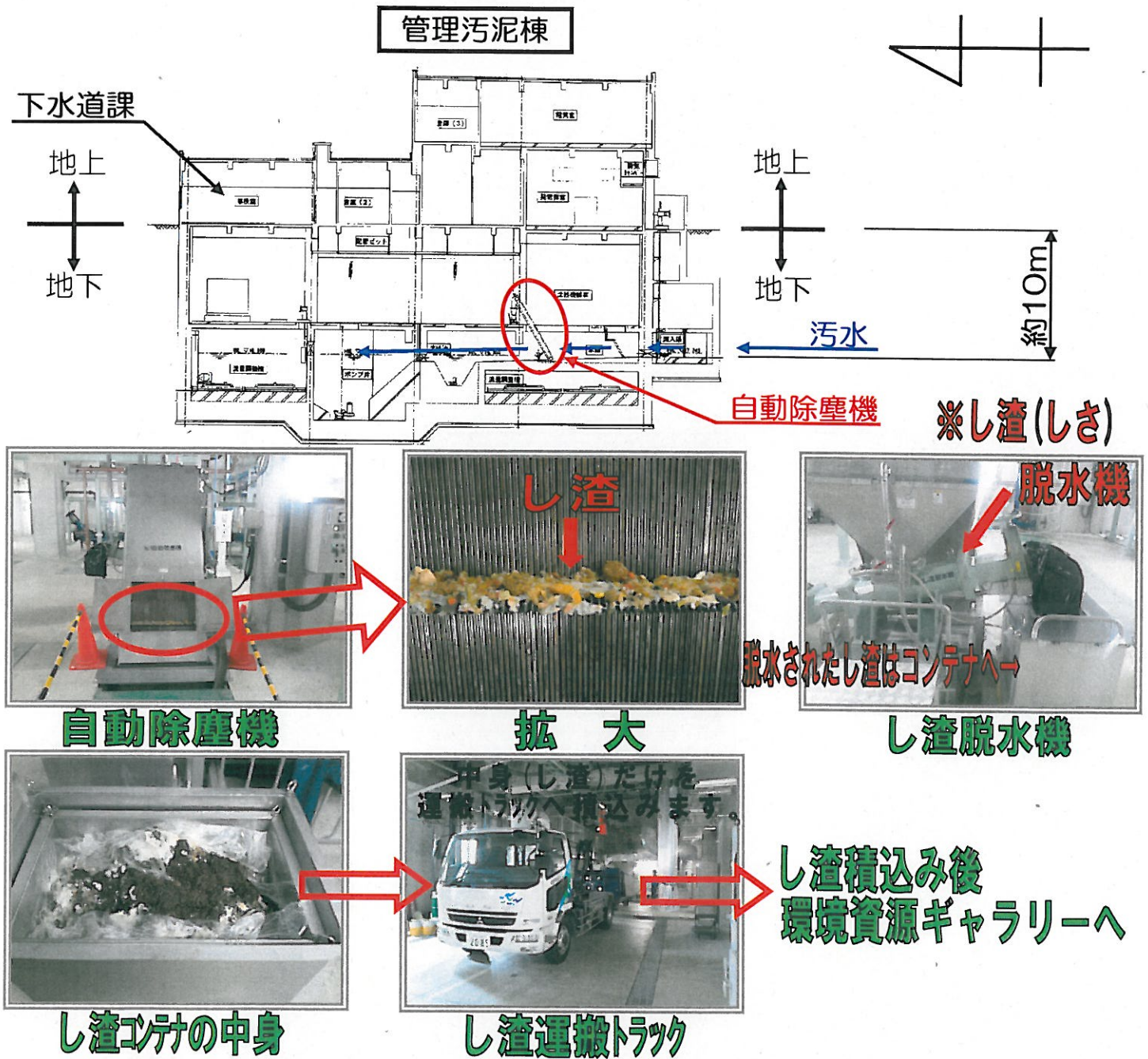


（裏面につづく）

下水道は皆さんに利用してもらうことで初めて効果が現れる施設です。一日も早く下水道に接続していただきますよう皆さんの御理解と御協力をお願い申し上げます。

菊川浄化センターの施設紹介 自動除塵機編

前回は、各家庭からの汚水が一番最初に入ってくる『流入渠』とトイレトーパーなどの大きなゴミを取除く『粗目スクリーン』について紹介しました。
 今回は、粗目スクリーン後の施設となる『自動除塵機(じどうじょじんき)』を紹介しま



◎自動除塵機

自動除塵機では、粗目スクリーンでは取れない細かなゴミを目幅2.5mmの格子状のスクリーンにより定期的(1時間に1回、5分程度稼働)に取除いています。2.5mm未満のゴミは次の施設となる沈砂池に流れます。

ここで取除かれる主なゴミは、残飯や野菜くずなどとなります。

このゴミ(し渣)の処分方法は、約1ヶ月に一度(約385kg)、運搬業者に取りに来てもらい、環境資源ギャラリーへ運び焼却処分しています。(ここで取れたゴミは、一般廃棄物となります。)

次回は、『沈砂池』を紹介する予定です。

詳しくは下水道課(TEL 35-0933) または
 市のホームページ(菊川市のホームページ→くらし→上下水道→下水道)まで お問合せください。